

上南地区 地域づくりプラン

～自然の恵みをいかした農業と観光の地区～



平成 25 年 3 月

上南地区地域づくり協議会

目 次

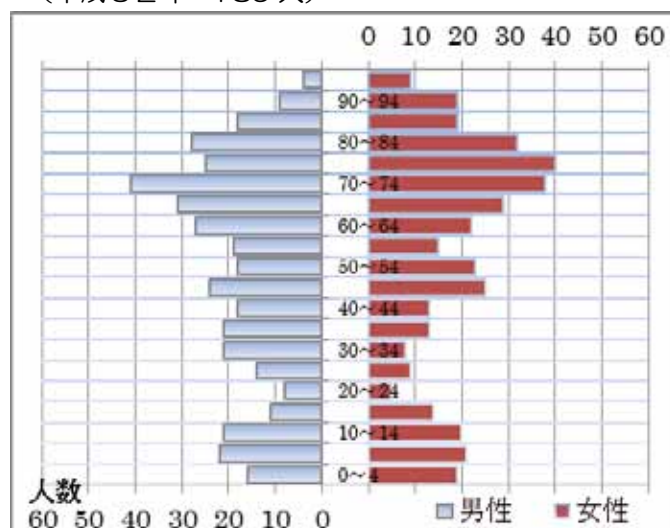
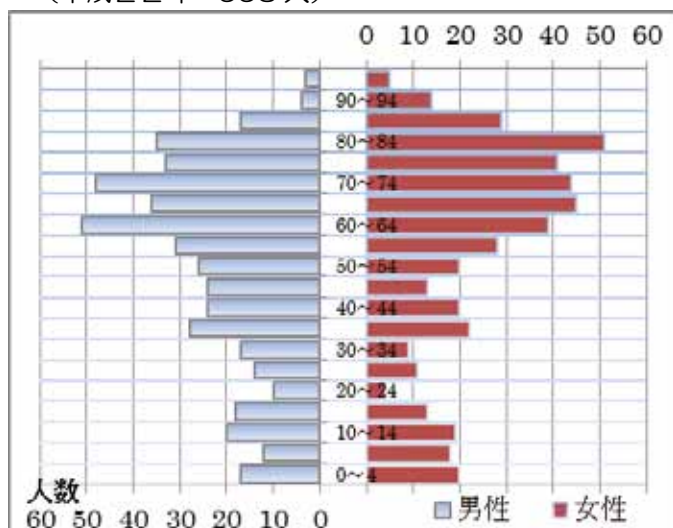
1 地域づくりプラン策定の趣旨	・・・ 1
2 地域づくりの基本方針	
3 上南地区の現状と課題	
4 地域づくりの目標	・・・ 2
5 具体的な取組み（地域づくりの方針及び方策）	
(1) 暮らしに関すること（事業計画）	
(2) 産業に関すること（事業計画）	・・・ 5
6 収支計画（5ヶ年）	・・・ 7
7 上南地区地域づくり協議会の組織体制	
8 生活部会で話し合われた活動案	・・・ 8

上南地区の概要（H24. 4. 1 現在）

人口 918 人 世帯数 348 戸（住民基本台帳）
 高齢化率 43%（全人口に対する 65 歳以上人口の割合）
 集落数 11 藤後、槇、溝尾、物出、柵口、西飛山、
 田麦平、須川、川詰、高倉、下倉



上南地区年齢階層別人口の現状と今後の推移（過去の国勢調査結果から推計）
 （平成22年 993人） （平成32年 789人）



※コーホート変化率法による人口推計

地域づくりプラン策定の経過

平成 24 年 3 月～5 月 懇談会・アンケート調査

7 月 上南地区地域づくり協議会設立総会

12 月 地域づくり講演会

平成 25 年 3 月 先進地視察（柏崎市）

3 月 懇談会

平成 24 年 7 月～平成 25 年 3 月

役員会 6 回開催

生活部会 22 回開催 部員数 23 名

産業部会 26 回開催 部員数 15 名

1 地域づくりプラン策定の趣旨

上南地区では、少子高齢化によって人口が減少していく中で、今後も住み慣れた土地で誇りをもって住み続けるためにどうすればよいか、住民自らが考え、住民主体の地域づくりを推進するため、地域づくり協議会を設立し、プランの策定に取り組みました。

地域づくりプランを策定するため、協議会の中で生活部会と産業部会の2つの専門部会を設け、両部会とも8ヶ月間で20回以上に及ぶ部会を開催し、地域課題の把握と解決策の検討を行いました。

2 地域づくりの基本方針

地域づくり活動は、計画を立てる段階から多くの人が関わり、できることから実行し、結果を検証し次へ繋げていくことが重要です。そして何より関わっている人が満足感や楽しさを感じられるものでなければなりません。地域づくり協議会では、プランの実現に向けて各活動の細部を話し合い実行していくために、まずは協力してくれる仲間づくりから始めます。

地域づくりプランの計画期間は、平成25年度から平成29年度とします。

3 上南地区の現状と課題

地域の現状と課題を把握するため住民懇談会やアンケート調査を行いました。

- ★H24 住民懇談会 9会場（11集落） 参加者 109人
各種団体の懇談会 6会場 参加者 71人
（各種団体：婦人会・保育園保護者会・商工業者・消防団・転入者・須川そばグループ）
- ★H25 住民懇談会 8会場（11集落） 参加者 161人
- ★アンケート調査 348世帯全戸配布（調査期間 平成24年3月～4月）意見総数 524件

懇談会やアンケートでの主な意見

良いところ

●豊かな自然

四季折々の景観・鉾ヶ岳・権現岳・万年雪・
柵口温泉・能生川・湧き水・ブナ林・ホテル

●おいしい食べ物

豊富な山菜・米・野菜

●地域のひと

地域を良くしようと頑張っている人がいる
野菜づくりなど、技術を持った人がいる

●整備された施設

柵口温泉・スキー場・ゴルフ場
・上下水道・除雪体制が整った道路

改善したいところ

■人口減少

少子高齢化・後継者不足・集落運営困難

■冬の生活

屋根雪降し・交通への不安

■公共交通

バスの本数・バス停までの距離

■生活環境

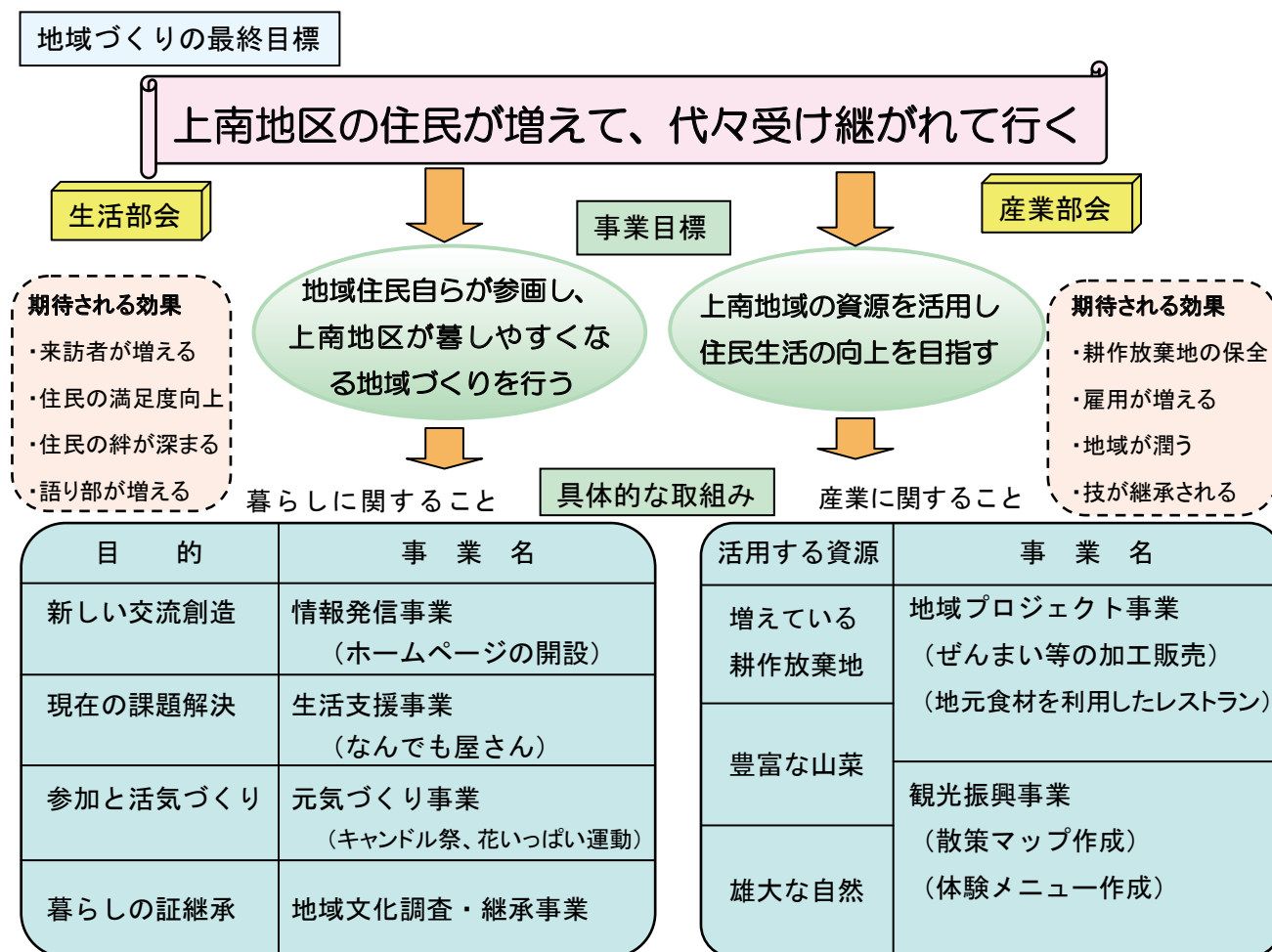
耕作放棄地の増加・獣被害の増加

■資源未活用

自然資源や観光資源が有効に活用されていない

4 地域づくりの目標

懇談会やアンケート調査で多くいただいた意見、「人口減少による将来への不安」を少しでも解消するため、最終目標を「**上南地区の住民が増えて、代々受け継がれて行く**」としました。これには、地域資源を活用し関連づけることで人を呼び込み、小さくても仕事が生まれ、定住に繋がりたいというみんなの想いが込められています。今後は「地域住民の参画」と「資源の有効活用」を重要なキーワードとして具体的な事業に取り組めます。



5 具体的な取組み

(1) 暮らしに関すること

生活部会では、多くの課題と解決策が話し合われました。一度に全部を実行できないことから、当面実施する事業を考える際に「緊急性／重要性」「みんなでできること」「すぐにできること」というテーマで絞り込みを行った結果、当面行う事業として次ページ以降の4事業を選びました。

今後も話し合いを続ける中で地域のニーズを確認しながらこの他の事業にも柔軟に取り組めます。



情報発信事業（上南地区のホームページ開設）

■達成したい目標

H25 秋

上南地区のホームページが開設され、地域からの情報発信・情報共有が図られている状態

■誰に向けて情報を発信するか？→地区外の人（地元出身者／観光客）

地区内の人（情報共有のため）

■何を発信するのか？

★イベント情報

例：地域づくりイベント・地区外の人に参加できるイベント・協力してくれる人の募集

★地区内の活動

例：地域づくり情報・地域づくりの活動内容（何をしているか）

★観光情報

例：景色・自然の良さ・地域の様子・散策マップ

★特産品

例：農産物・山菜・食文化

■どうやって運営していくのか？

- ・各地区や公民館などから行事予定などの情報を提供してもらう。
- ・情報収集と更新管理担当を5名程度募集する。（無償ボランティア・理想は各集落に1名）
- ・フェイスブックやブログも行う予定です。

生活支援事業（なんでも屋さん）

■達成したい目標

H26

組織ができていて、電話1本で高齢者の要望に応えられている状態

■現在の状態

- ・困っていることはあるが組織がないため、知り合いなどに個別に依頼している状態
- ・少し不便だが我慢している状態

■事業を行う上で解決すべきテーマ

- ①事務局を決める ②協力者を募る ③住民ニーズを把握する ④人材育成

■H25年度の予定

春

・事務局の設置・先進地視察・活動計画（案）の作成（業務範囲の設定、関係者協議）

夏

・協力者の募集（得意分野のデータベース化）・料金などの試算・案の作成

秋

・住民ニーズの把握・料金の確定・住民への周知

冬

・試行（とりあえず除雪から）

元気づくり事業（花いっぱい運動）

■達成したい目標

H27

- ・協働作業で地域のコミュニティが深まっている。
- ・集落毎に花が綺麗に咲いている。



- 現在の状態 槇から溝尾までの農道や下倉・高倉・柵口・西飛山などで花が植えられている。
課題：農道は通行者が少ない、花の種類や植え方に統一感がない。管理が大変（全地区）

- 今後の予定 H25・試験的な取組みとして協議会で準備した花の苗を各家庭で買ってもらい、道路から見える場所に植えてもらう。
・次年度以降に向け、銚ヶ岳農業環境組合及び各地区との打合せ（意向確認）
H26・経費節減に向けて苗づくりにチャレンジ・試験的に植栽
H27・各集落で検討した花を道路端、庭先、地域の花壇、観光スポットに植える。

元気づくり事業（上南ふれあいキャンドル祭り）

■達成したい目標

多くの人が参画し、仲間づくりの機会になっている。
上南で暮らしている人達に元気をあたえている。



- 現在の状態 協議会で行う初めてのイベントとして
2月9日に南小ファイヤーと合同で南能生小学校グラウンドを会場に開催した。
実際に行動を起したことでイベント立上げの苦労や、多くの仲間と協力して成し遂げたときの達成感を味わうことができた。
- 今後の予定 ・南小ファイヤーと合同開催を基本とするが、他地区での開催も検討する。
・小学校やPTAと早い段階から協議を行う。



地域文化調査・継承事業

■達成したい目標

H27

- ・上南の人々が地域の良さ（歴史・文化・伝統工芸など）を再発見し、来訪者に語れるようになっている。
- ・調べたことを記録に残し、その記録が貴重な資料として色々な団体から活用されている。

- 現在の状態 ・地域の良さを知っているようでいて、実はあまり知らない。
・既に能生谷史誌、能生町史、個人編纂史などがあるが、あまり活用されていない。
・子どもや人材の不足により、継承困難な伝統行事がある。

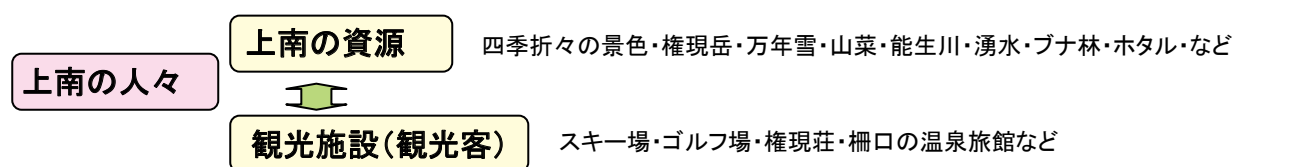
- 現在の課題
 - ・重要な事業という認識はあるが、歴史・文化は難しそう、などの理由により、部会においても仲間が少ない。
 - ・伝統行事や歌・舞などは、調査や記録保存はできても継承や復活は大変な労力を要する。(継承や復活は個別のグループで行うべき)
- 予想される成果
 - ・住民が地域の良さを語れることにより、上南のイメージアップに繋がる。
 - ・調査チームが観光ガイドもできるようになる。
 - ・地域文化（地域の伝統食づくりや工芸品づくり）を通して世代間の交流が生まれ、後継者の確保に繋がる。
 - ・地域文化を体験型イベントにして観光と繋げる。
- H25 年度の活動
 - ・仲間づくり
 - ・活動のテーマを決める
 - 地名（小字）や名字の由来など、身近なテーマから調べてみる。
 - 伝統食や工芸品づくりなど、幅広い世代で楽しめることから取り組んでみる。

(2) 産業に関すること

観光振興事業

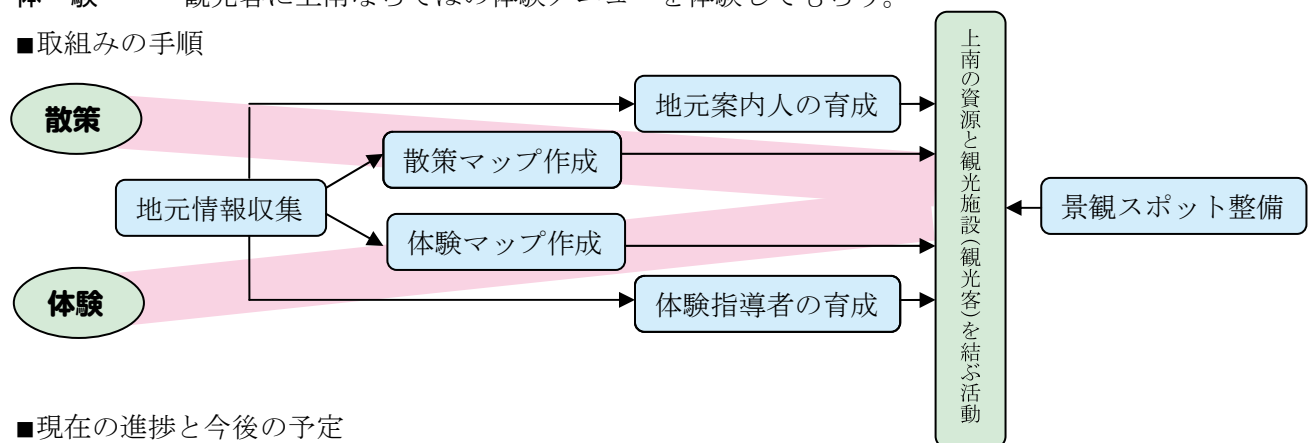
- 課 題：豊富な観光資源を活かしきれていない
- 解決策：地域住民が観光客を案内したり、体験メニューを提供することによって、観光客の満足度アップを図る

コンセプトは「上南の資源と観光施設（観光客）を結ぶのは上南の人々」です。



- 散 策・・・観光客に散策マップを見ながら散策してもらう。又はガイドが付いて案内する。
- 体 験・・・観光客に上南ならではの体験メニューを体験してもらう。

■取り組みの手順



■現在の進捗と今後の予定

現在、2013 年春用の散策マップが完成しました。

今後、夏秋冬用のマップ作成やガイドの養成及び体験メニューの検討を行います。

地域プロジェクト事業

産業部会生産チームでは、地域資源を活用した地域ビジネスを起し、「住民生活の向上を図ることができないか」をテーマにこれまでに20回以上の部会を開催し検討を行ってきました。

その中で地域資源では山菜、地域課題では耕作放棄地の保全及び活用が重要と集約されました。上南地区では以前からぜんまいの栽培が盛んなことから、上南地区全体の取組みとして新組織「銚・権現ジオの里」を立ち上げて施設整備を行い、現在溝尾ぜんまい組合で行っている生ぜんまいの買取りや乾燥、販売の事業を継承することになりました。今後土地所有者と協議を行い栽培地の維持管理や採取のサポートの仕組みも検討していく予定です。

また、地元の山菜や野菜などの食材を利用した農家レストランを併せて整備し、そばや笹寿司などの飲食店営業の他、郷土料理を中心にした仕出し、将来的には弁当や上南地域のお土産品の開発販売なども行う予定です。

これらの事業を行うことで耕作放棄地を保全するとともに山菜や農産物の有効活用により、地域の活性化に繋げたい計画です。



組織名：銚・権現ジオの里

目的 上南地区の豊富な山菜を活用し、加工販売することで上南地域全体の活性化に寄与する。

施設位置 模地内（南能生保育園跡地）

活動内容

- ・ぜんまい乾燥・加工・販売
- ・将来的にはぜんまい栽培のサポート
- ・そばと笹寿司を中心とした地元食材を利用したレストラン、仕出し、弁当、お土産品の開発

スケジュール(予定)

農家キッチンひだまりオープン 平成25年秋
山菜受入れ、加工 平成26年春

施設整備計画の概要（平成25年度）

食品加工施設	1棟	46坪	3,800万円
ぜんまい作業所	1棟	18坪	600万円
ぜんまい乾燥機	1基	購入	150万円
〃	1基	転用	50万円
パイプハウス	2棟		250万円
外構工事	1式		150万円
計			5,000万円

財源内訳

県50% 市45% 銚・権現ジオの里5%

平成26年度 売上目標（1,800万円）

■食品加工販売部門

レストラン	そば 11,500食／年
	寿司 3,300食／年
仕出し(弁当含む)	750個／年
山菜など各種加工品	1式

■ぜんまい生産加工販売部門（取扱い量）

生から一次乾燥	2,000kg／年（生重量）
生ぜんまい買取り	3,000kg／年（生重量）
干しぜんまい販売	620kg／年（乾燥重量）

6 収支計画（5ヶ年）

上南地区地域づくり協議会では、アルミ缶回収事業を主な自主財源とし、地域づくり活動支援事業補助金を活用して運営していきます。市の補助金が5年間で終了するため、個々の事業が独立採算を目指して活動していく必要があります。

収 入

単位：千円

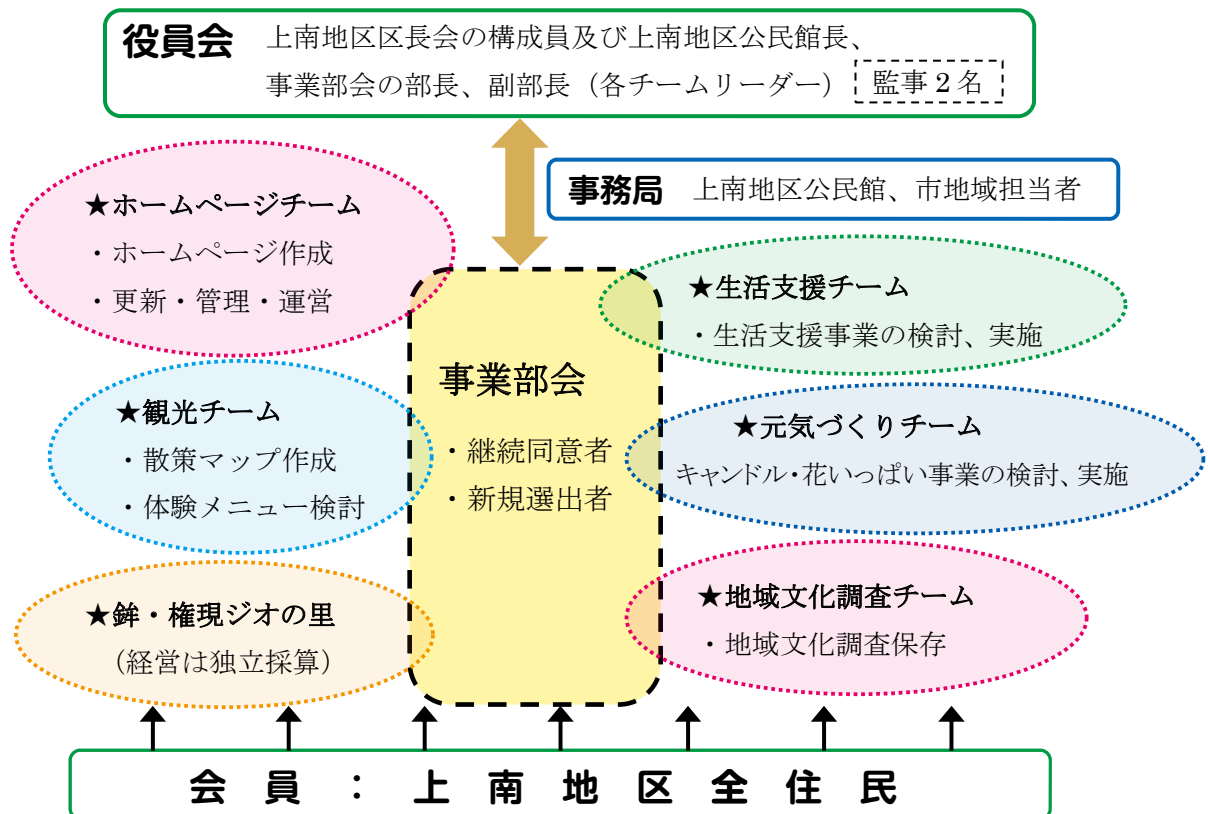
費 目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	計
市補助金 【地域づくり活動支援事業】	490	490	490	490	490	2,450
資源回収事業 【アルミ缶回収事業】	60	80	80	80	80	380
情報発信事業 【ホームページ】	0	10	10	10	10	40
生活支援事業 【何でも屋さん】	0	20	40	40	40	140
元気づくり事業【キャンドル祭り】	10	10	10	10	10	50
元気づくり事業【花いっぱい運動】	10	40	40	40	40	170
計	570	650	670	670	670	3,230

支 出

単位：千円

費 目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	計
協議会運営費	50	90	90	90	90	410
情報発信事業 【ホームページ】	0	10	10	10	10	40
生活支援事業 【何でも屋さん】	20	30	60	60	60	230
元気づくり事業【キャンドル祭り】	70	70	70	70	70	350
元気づくり事業【花いっぱい運動】	60	120	120	120	120	540
地域文化調査・継承事業	20	40	40	40	40	180
観光振興事業	350	290	280	280	280	1,480
計	570	650	670	670	670	3,230

7 上南地区地域づくり協議会の組織体制



★組織体制は活動が活発に行われるように随時変更していきます。

8 生活部会で話し合われた活動案

★生活部会では地域が抱える問題を解決するため、様々な活動の検討を行いました。
検討した内容の一部を紹介します。

活動目的	活動案	現状や問題点
いくつになっても暮らせるための活動 (高齢者の生活支援など、全世代が暮らしやすくなる工夫)	何でも屋さん	高齢者は、日頃困っていることがあっても他人になかなか頼めないで我慢してしまう傾向がある。
	買い物支援・安否確認	高齢者は食料の調達ができない。移動手段がない。一人暮らしから来る不安を抱えている。
子どもと大人の安全と安心を増やすための活動 (危険予防、事故防止に関すること)	ボランティア組織の立上げ	高齢者は雪下し、雪かきを自分でできない。大雪になると需要が集中して人手不足になる。
地区内の移動を便利にする活動 (人やモノの移動に関すること)	コミュニティバスの運行	路線バスの行かない地域がある。通学の時間帯に合っていない部分がある。
もしもの時のために備える活動 (災害や防災への対応や啓蒙啓発に関すること)	災害時の集落間連携	地形や道路が複雑で他地区の人にはわかりづらい。若者が少ない。
	防災意識の向上	地元に住んでいる消防団員が少ない。自主防災組織の結成率が低い。
身の回りの美化をすすめる活動 (里山の荒地、集落内の空き家、環境美化など)	空き家の有効活用	空き家が利用されないまま潰れていく。お年寄りが亡くなり空き家になって年数が経過してしまうと利用価値が下がる。
	花いっぱい運動	槇から溝尾の農道や高倉、柵口、西飛山で行われている。花を目的に見に来てくれるものになっていない。管理が大変。
	高齢者にやさしい再畑化	身近な家のまわりや農道脇の耕地が荒れている。
地域の繋がりをとおして生業にしていく活動 (コミュニティビジネスなど)	自家野菜の集荷	作り過ぎた野菜が余っている。売る方法がない。
	腐葉土づくり	落葉がたくさんあるが利用されていない。落葉が災害を引き起こしている(水害、土砂崩れ、交通事故)
昔からの伝統を守り伝える活動 (歴史、文化、伝統、行事の記録、保全、継承など)	伝統文化の調査発表	住民の減少と同時に伝統文化も消えていく。
	伝統の継承	上南地区には多彩な伝統文化が伝わっているが、子どもや若者の減少によって継承への危機感が感じられる。
新しい出会いや交流を進める活動 (地区内外の人の交流、モノの交流)	婚活	男女を問わず30歳代から40歳代で未婚者が多い。出会いの機会が少ない。結婚に対する意識がない。
	キャンドルロード	柵口で2年位前に1回実施(評判は良かった)。高倉では賽の神に合わせて5年位行っている。冬のイベントが少ない。
地域の良さを発信していく活動 (情報の収集と発信、地区内もしくは地区外向け)	地区のホームページ開設	上南地区のホームページがない

活動内容や目標	実施するための課題
少額のお金を払うことで遠慮なく、気軽に頼める仕組みを作る。	利用者ニーズの把握 ボランティア募集、事務局体制
地域の人を買ってくる。移動販売。コミュニティバスの利用。元気な時は玄関に目印を毎朝出す	利用者ニーズの把握 ボランティア募集と配置の仕組み
有償又は無償のボランティアを募集し、対応する。排雪が不便な場所は流雪溝などの施設整備も検討する。	利用者ニーズの把握 ボランティア募集と配置の仕組み
コミュニティバスを地域で運営し、利用者ニーズに合った運行をする。	現在の路線バスの代替えになる可能性があるため、十分な話し合いが必要。運行コストの検討
災害が起こった集落の近隣の集落の人が交通整理などの応援をする。経験豊富な人が道や地形を教え伝承する。	応援体制の構築。過去の経験の継承
11集落での放水訓練の実施。上南防災の日を制定し、楽しみを重視しながら防災意識の向上を図る。	
空き家情報だけでなく借りたい人のリストを作成する。お年寄りが元気なうちに登録してもらう。（貸しても良いことを）	空き家の売値が高い。修繕費がかさむ。登録処理が大変
上南全体で協議し花を一元化、又は集落毎に花を変える。県道沿い（一連）が最適	プランターの場合水やり。銚ヶ岳農業環境組合との協議。維持管理が容易で綺麗に咲く品種の選定
制度の見直しや耕作しやすい土地にして高齢者でも楽に耕作できるようにする。山菜で現金収入の仕組みも考える。	何を変えれば耕作できるのか。費用負担は誰がするか。
移動販売車が集荷して能生で販売する。地域の元気なおばあちゃんがその野菜を使って一人暮らしのお宅に配食する。	費用と協力者の検討
腐葉土づくり体験をビジネスにする。こぬかやEM菌を入れて付加価値をつける。野菜づくり、花づくりに活用する。	腐葉土にするまでに手間がかかる。大量に集めるとなると大変。発酵させる場所の確保。
伝統文化の調査・記録保存を行う。地域誌の作成	情報を提供してくれる人、集めてくれる人、編集してくれる人などたくさんの人の協力が必要。
他集落と合同で実施。危機感を持って継承の努力をする。	
小規模でも数多くのイベントを実施する。既婚者が結婚の良さを伝える。	未婚者の意識を変えられるか。
南小ファイヤーと合同開催を検討する。多くの人から企画から参加してもらい、まずやってみる。	費用、住民の理解、協力をどう得るか
ホームページを立ち上げ地域の情報を発信していく。	更新作業と費用負担

シのルマニ火打スキ一湯春情報!!

春からシーズンオフまでの春1/2は格安!!
GWまで遊び放題!

スキーもスノボも **しないか!** えっ? **足元・服装そのままで 山頂まで行けす!**

リフトは行、り、帰、って 500円!!

山頂で と どまったりし。

スキー場から日本海が見える景色は必見!

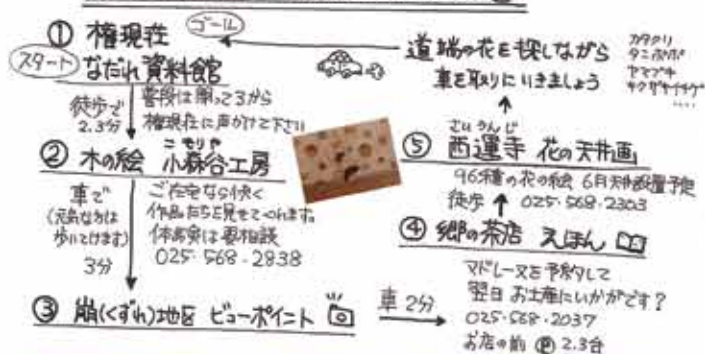
運がよければ、佐渡が見えたり...

こんなレアなBも。

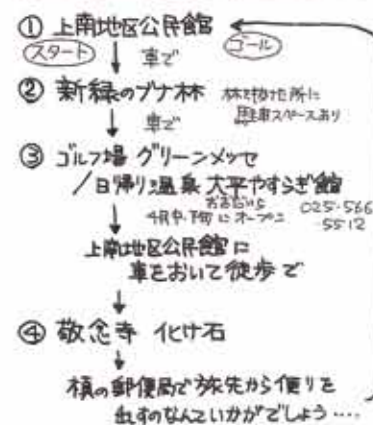


除雪作業員の方の遊び心に注目!

地区周辺 散策モデルコース



地区 散策モデルコース



敬念寺の化け石 伝説



昔々、まだお雛様のブナ石が
白髪の婆さんに化けて、みまを
困らせていた。ある日、石磨が
金鉄のくさびで打ちこぼれ、石から
血がダラダラと出て、くさびを
吸い込んでしまい、それ以来、化けて出なくなると
言われている。そのくさびの跡の残る「化け石」が 敬念寺の
境内にある。子ども達も時々見学に来ています。